

2022年(令和4年)度
英語検定型入学試験 B日程 問題
海外帰国生徒入学試験(国際バカロレア等を含む) B日程 問題
小論文

2021年11月25日 実施

【解答上の注意】 答案は別紙解答用紙に、左横書きで書いてください。
この問題用紙の余白や裏面を下書きなどに利用してもかまいません。

《課題文》

環境保護の実現について思いをめぐらせると、私たちはすぐに一つの難点に行き当たる。社会制度や価値観は、誰かが変えようと思ったからといって、すぐに変えられるようなものではないという点だ。民主的な社会には常に多様な意見が存在しており、むしろ多様な意見があるほうが望ましいと考えられている。それが環境問題に関してだけは、社会の構成員全員が一致した意見を持つことを期待できると考えるほど、楽観的な人はいないだろう。

見解が異なる時、民主的な社会においては話し合いによって合意が形成されることが望ましい。とはいえ、望ましいことが当たり前を実現するわけではないのは世の常である。「国際社会で勝ち残るためには経済活動を停滞させるわけにはいかない」、「まずは人びとの生活水準を上げることが優先だ」など、環境保護をひとまず脇に置くための口実には、一定の説得力がある。開発や汚染の当事者が、こうした主張を放棄しない場合に何か良い方策はあるだろうか。

極端な環境破壊は自身の生存をも脅かすので、環境保護自体が嫌だという人は、まずいない。しかし、数ある個人的・社会的目標のなかで、環境保護が優先されることは決して多くはない。環境に過度の負荷を与える行為がもたらす被害は、その行為者から地理的・時間的に遠く隔たって発生することが多いし、因果関係にも曖昧な点がある。つまり、行為とその結果としての被害の関連が直接的なものとして見えてこないのだ。だが、もし環境を破壊する行為を、より直接的な被害をもたらすものとして描き出すことができたらどうだろう。私たちはもっと環境に配慮するようになるだろうし、配慮のない行為を規制することも容易になるだろう。このように考えたとき、自然の「内在的価値 (intrinsic value)」という環境思想の文献に頻出する概念は、とても魅力的なものとなる。

— 中略 —

もし自然に内在的価値が、それも道徳的な意味での内在的価値があるとしたらどうだろう。自然破壊によって引き起こされるさまざまな人的・社会的被害の発生を待つまでもなく、自然破壊それ自体が、動植物や生態系の権利侵害という人権侵害に近い深刻な道徳的問題を引き起こすものだということになる。環境思想では、人間以外の存在にも道徳的に配慮しなければならないという考え方を「非人間中心主義 (non-anthropocentrism)」と呼ぶが、もし非人間中心主義を社会の基本方針に据えようとする試みが達成されれば、環境保護運動は極めて強固な土台が手に入ることになる。道具としての価値とは異なる価値であるはずの内在的価値が、環境保護を有利に進めるための一種の道具になるというのは、ある意味で皮肉な話ではある。とはいえ、環境問題という現代社会が直面する大きな危機を乗り越えられるのであれば、そのようなことは大した問題ではないのかもしれない。だが、内在的価値とそれにもとづく非人間中心主義という考え方は、環境保護を考えるうえでどこまで有効かつ適切なのだろうか。

内在的価値にもとづく非人間中心主義の考え方は、自然の道徳的価値や権利を主張することで、経済活動に伴う自然開発や汚染を規制し、環境保護の促進に役立つことが期待される。しかしながら、そこには二つの問題がある。一つは、規制を論じるだけでは一面的に過ぎることだ。確かに私たちの社会はさまざまな規制があり、それらなくしては秩序や治安を保つことはできない。だが自分自身が子ども時代や大人になってから経験してきた社会生活を思い返してみよう。学校の授業であれ町内会や企業などの活動であれ、集団の活動が一定の秩序をもって遂行されるのは、その集団に属する個人が一定程度、自発的に集団の規則やその規則のもとにある理念を尊重していたからではないだろうか。規則に書かれていること以外は一切好き勝手に、いわば脱法的に振る舞おうとしてばかりの個人が集まったところで、集団を維持することはできない。だからといって構成員の一挙手一投足まで縛ろうとすれば、規制は極度に抑圧的なものとなり、結果として多くの逸脱や反抗を招いて、やはり集団を維持できなくなってしまうだろう。

環境保護のための規制についても同様のことがいえる。規制が機能するのは、規制の理念を尊重する集団の存在があってこそであり、すべてを厳格な規制で制御しようとするれば、自由な経済活動も民主主義も立ち行かなくなるだろう。なにより、人びとのあいだに、適切な規制やあるべき社会像を自ら発信する態度、あるいはそうした発信を行う個人や団体を支持するという態度なくして、社会を望ましい方向に変えていくことなどできるだろうか。自然の内在的価値にもとづくものに限らず、規制にばかり目を向け、市民の環境意識や道徳観の涵養に言及しない議論はこの点を見落としている。

(尾関周二著『「環境を守る」とはどういうことか』より)

《問題》

課題文を読んで、以下の指示に従って答えなさい。

- (1) 非人間中心主義の考え方が環境保護活動に与える影響について、200字以上300字以内で解答欄①に書きなさい。
- (2) 次の問いへの答えを、300字以上500字以内で解答欄②に書きなさい。

問：内在的価値の意味を踏まえた上で、社会的な規制のあるべき姿について、自身の考えを述べよ。

2022年(令和4年)度
英語検定型入学試験 B日程 問題
海外帰国生徒入学試験(国際バカロレア等を含む) B日程 問題
小 論 文

2021年11月26日 実施

【解答上の注意】 答案は別紙解答用紙に、左横書きで書いてください。
この問題用紙の余白や裏面を下書きなどに利用してもかまいません。

《課題文》

人々は、ただ物理的に接近して生活することだけでは、社会を形成しはしない。そのことは、人が他人から何フィートか、何マイルか遠ざかることによって社会的に影響を受けなくなるわけではないのと同様である。本や手紙は、同じ屋根の下に住んでいる人々の中の結びつきよりも、より親密な結びつきを互いに何千マイルも離れている人間たちの間に立ち立てることがある。また、人々がみな共通の目的のために働いているからといって、彼らが社会集団を構成するわけではない。機械の諸部分は共通の結果をめざして最大限の協力をしながら働くけれども、それらの諸部分は共同体を形成しはしないのである。しかしながら、それらがすべてその共通の目的を知っており、それに関心をもっており、そのためそれらがその共通の目的を考慮しながら自分たちの特定の活動を調節するならば、それらは共同体を形成することになる。だが、このことは通信を必要とするのである。各自は、他のものが何をしているかを知らなければならないだろうし、また、何らかの方法によって自分の目的や自分のしていることに関して他人に知らせておくことができなければならないだろう。合意は通信を必要とするのである。

以上のようなわけで、われわれは、最も社会的な集団の中にさえまだ社会とはいえない多くの関係が存在するということを認めざるをえない。いかなる社会集団においても非常に多くの人間関係がいまなお機械の場合と同じような段階にある。人々は自分が欲する結果を得るために互いに他を利用しあうが、そのとき自分が利用する人々の情緒的および知的性向や同意を顧慮しはしない。そのような利用は、肉体的優越、または地位や熟練や技術的能力の優越、および機械的ないし財政上の道具の支配をものがたっている。親と子、教師と生徒、雇用者と被雇用者、治者と被治者の関係がこのような水準にとどまっている限り、彼らのそれぞれの活動が相互にどんなに密接に接触しようとも、彼らは真の社会集団を形成しはしないのである。命令を下したり受けたりすることは行動や結果に変化を及ぼすけれども、そのことはひとりでに目的の共有や関心の共有をもたらしはしないのである。

社会生活が通信と同じことを意味するばかりでなく、あらゆる通信(したがって、あらゆる真正の社会生活)は教育的である。通信を受けることは、拡大され変化させられた経験を得ることである。人は他人が考えたり感じたりしたことを共に考えたり感じたりする。そしてその限りにおいて、多かれ少なかれ、その人自身の態度は修正される。そして通信を送る側の人もまたもとのままでいしはしない。ある経験を他人に十分にそして正確に伝えるという実験をしてみると、とりわけその経験がいくぶん複雑な場合には、自分の経験に対する自分自身の態度が変化しているのに気づくだろう。さもなければ無意味な言葉を使ったり叫び声をあげたりすることになる。経験を伝えるためにはそれは系統だててきちんと述べられなければならない。経験をきちんと述べるには、その経験の外に出、他人がそれを見るようにその経験を見、その経験が他人の生活とどんな点で接触するかを考察して、他人がその経験の意味を感得できるような形にしておくことが必要である。平凡な文句や標語に関する場合のほかは、人は自分の経験を他人に理知的に語って聞かせるためには想像力によって他人の経験をいくらか自分のものにしなければならない。通信はみな芸術に似ている。それゆえ、いかなる社会制度も、それが真に社会的である限り、つまり真に共有されている限り、それに関与する人々にとって、教育的であるといつてよいだろう。それは、型にはまって、きまりきった仕方で行なわれるときにだけ、その教育力を失うのである。

(デューイ著・松野安男訳『民主主義と教育(上)』より)

《問題》

課題文を読んで、以下の指示に従って答えなさい。

- (1) この課題文における「真の社会集団」とはどのようなものか、200字以上300字以内で解答欄①に書きなさい。
- (2) 次の問いへの答えを、300字以上500字以内で解答欄②に書きなさい。

問：この課題文における「教育的」とはどのようなものか、あなたの身近な具体例を挙げながら説明せよ。